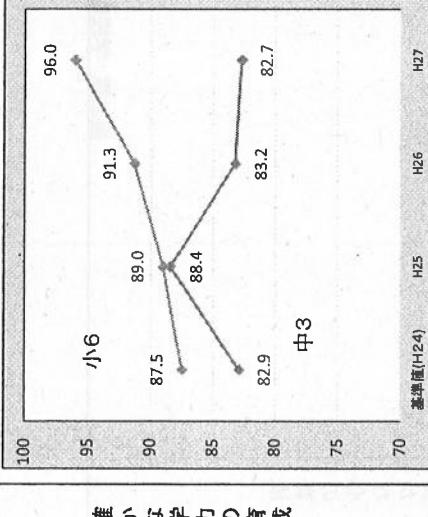
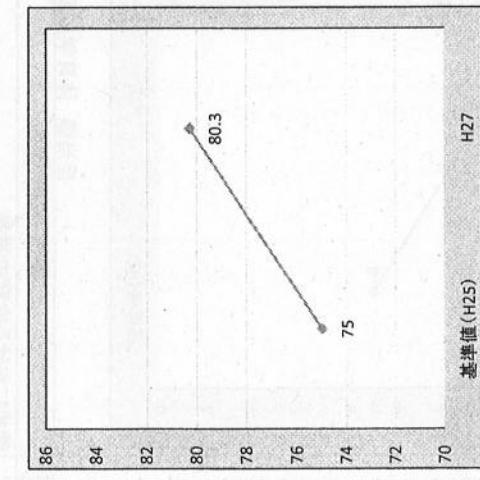


番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	学力向上策の推進 「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の実施率	確かな学力の育成	「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の実施率	「全国学力・学習状況調査」における書く力を伸ばすための充実を促進する。
			取組状況(H27年度分)	学力向上研修会、教育課程研究集会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための具体的な指導方法等について研修を実施した。 「学力向上推進員研修会(6月・2月)」「教育課程研究集会(8月)」「学校訪問指導(延べ約300校)」の実施
		評価	(成果) 各種研修会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、小学校では目標値を超えるとともに全国平均を上回った。 (課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的方策に関する情報提供を行い、指導内容等の充実を図る必要がある。	(成果) 各種研修会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、小学校では目標値を超えるとともに全国平均を上回った。 (課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的方策に関する情報提供を行い、指導内容等の充実を図る必要がある。
		今後の取組方針		引き続き、指導の具体的方策に関する情報提供を行い、書く力を伸ばすための指導の充実を促進する。
	担当課 学校教育課			事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	施策・成果指標	幼稚園・小学校・中学校の連携	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
		幼稚園・小学校・中学校における合同研修会等の連携のための取組の推進	取組状況(H27年度分)	幼稚・小・中学校間で、相互の連携を一層促進し、園児・児童・生徒に対する継続的な指導や教師間の情報交換により、園児・児童・生徒への理解を深めるとともに、学習指導、生徒指導等の充実についての研究を推進する。 幼稚・中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクトを、平成26年度から2年間の研究指定地域として北島町・東みよし町を指定し、実施した。
		評価	(成果) 教職員間の相互交流や合同研修、児童生徒による合同活動等が実施され、連携・接続の推進が図られた。本事業の成果を「あわ（OUR）教育発表会」や広報誌「ふれあいひろば」を通して、広く県内に普及した。 (課題) 成果の更なる普及を図る必要がある。	(成果) 教職員間の相互交流や合同研修、児童生徒による合同活動等が実施され、連携・接続の推進が図られた。本事業の成果を「あわ（OUR）教育発表会」や広報誌「ふれあいひろば」を通して、広く県内に普及した。
	担当課 学校教育課	今後の取組方針		幼稚・小・中11年間を通して、「学び」や「育ち」をつなぐ教育・地域との連携等について、東みよし町・阿南市を指定地域とした2年次の実践的な研究を進めるとともに、その成果の県内への普及に努める。阿南市では、新たに保育所と小学校との連携・接続について研究を進める。

番号	推進項目	事業名、数値目標実績	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針						
22	権力の育成	道徳教育の充実 県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携	コミュニケーション能力の育成 授業や行事等において外部人材や地域のボランティアの人たちなどと共に学習することにより様々な立場の人々と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。	事業目的 取組状況(H27年度分)	授業や行事等において外部人材や地域のボランティアの人たちなどと共に学習することにより様々な立場の人々と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。 地域ぐるみで児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るために、外部人材や地域ボランティアの育成等の普及を図ることにより、外部人材や地域ボランティアの積極的な活用を推進した。						
			(基準値 H25) 一	(H27) 推進	(H26) 推進	(H27) 推進	(H28) 推進	(H29) 推進	達成率(H27) △	目標値(H27) △	目標値(H29) △
			(成果) 外部人材や地域のボランティアの人々等と交流することによりコミュニケーション能力の育成が図られたとともに、様々な立場の人への思いや考え方を知ることができた。	評価							
			(課題) 外部人材や地域の人々との交流のための打合せ時間の確保が課題である。								
			児童生徒が、外部人材や地域のボランティアの人たち等とのさらなる交流を深めることができるようするために、「総合的な学習の時間」や行事等において積極的に地域の人材を活用するよう、各学校の担当者に対して「総合的な学習の時間」等の年間指導計画や全体計画の工夫改善に努めるよう指導していく。	今後の取組方針							
番号	推進項目	事業名、数値目標実績	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針						
23	豊かな心の育成	道徳教育実践研究会道徳部会 県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携	道徳教育実践研究会道徳部会と連携した道徳教育の指導方法の改善等を通じて、道徳教育を推進する。	事業目的 取組状況(H27年度分)	徳島県道徳教育実践研究会道徳部会と連携した道徳教育の指導方法の改善等を通じて、道徳教育を推進する。						
			(基準値 H25) 一	(H27) 推進	(H26) 推進	(H27) 推進	(H28) 推進	(H29) 推進	達成率(H27) △	目標値(H27) △	目標値(H29) △
			(成果) 道徳教育実践研究会道徳部会(6校)や県小中学校教育研究会道徳部会(都市道徳部会3回、県道徳部会7回)、小中学校内研修(15回)等の指導・助言を通して、道徳教育の指導の改善に資することができた。	評価							
			(課題) 県内各校において学校の教育活動全體を通じての指導助言を行った。								
			県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表会等への連携を通じて研究の推進に努め、研究成果についての普及を図った。	今後の取組方針	県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会との連携を通じて研究の推進に努め、研究成果についての普及を図った。						
				担当課 学校教育課							

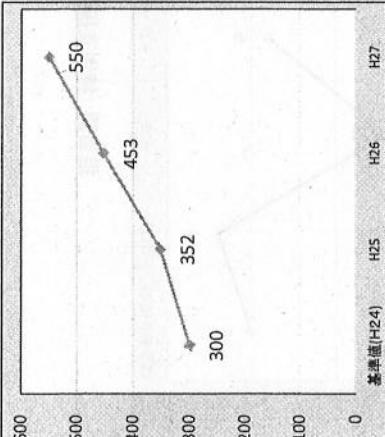
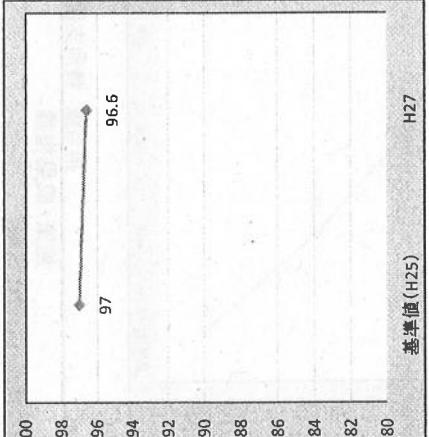
番号		推進項目		施策・成果指標		事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	
24	豊かな心の育成	各学校におけるボランティア活動への参加機会の設定	豊かな心をはぐくむボランティア活動の推進	事業目的	学校におけるボランティア教育の充実や家庭・地域・ボランティア団体等との連携を緊密に図り、継続的に学校や地域でのボランティア活動を推進し、その意欲を醸成する。	取組状況(H27年度分)	(成績) 各学校において、東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材の活用を通して、児童生徒のボランティア活動への参加意欲の高揚が図られた。 (課題) 外部人材や地域の人々など連携したボランティア活動を計画する機会の確保、及び活動を推進するための指導力を備えた教員の育成が課題である。
25	豊かな心の育成	「新学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合	環境教育の推進	事業目的	從来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動等に継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に出向いて、環境美化活動や自然観察等の体験活動を行い、学校における環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的とする。 この取組の成果を生かし、「新学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図るとともに、エネルギーに関する知識を充実させ、生命や自然を大切にし、地域の環境を守るために行動できる、郷土を愛するモラルの高い児童・生徒を育成する。	取組状況(H27年度分)	(成績) 従前の「学校版環境ISO」認定校(14校)の全てが「新学校版環境ISO」の認証を取得した。本年度の新規の認定校(8校)を合わせると、目標としている8校を達成している。「新学校版環境ISO」の認証取得を通して、環境保全活動や環境学習が全員的に浸透しつつある。また、児童・生徒、教職員が一体となった取組が家庭や地域にも広がっている。 (課題) 「新学校版環境ISO」新規申請校の一層の増加が課題である。

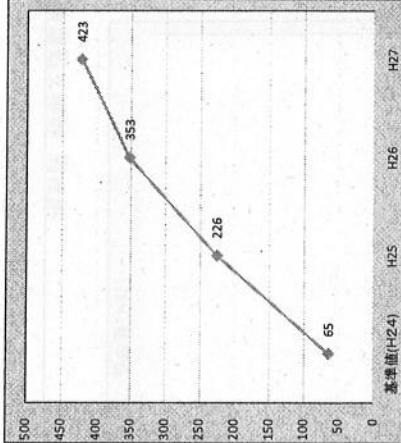
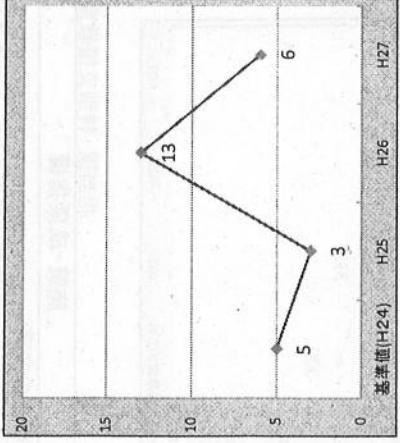


番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	学校体育の充実と運動習慣の確立 「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」結果において全国平均以上の種目数	事業目的 改善傾向にあるものの、まだ全国平均以下の種目が多く、運動をする子としない子の二極化現象、肥満傾向見の出現率が高い本県の子どもの身体の状況とあわせて、体力・運動能力の向上は喫緊の課題であり、学校・家庭・地域が連携した取組を推進し、その実現を図る。	取組状況(H27年度分) 1 小学3・4年生を中心とした新体力テストの実施及び県内プロスポーツ団体による運動指導を実施した。 2 小学校の体育授業への大学教員等による指導者派遣、運動・生活習慣確立のための指導者派遣を行った。 3 自ら生活や運動習慣の目標を決め100日達成を目指す取組や年度初めの歩数よりプラス1000歩を目指す取組を実施した。 4 ICTを活用し、運動の苦手な子どもでも友だちや家族と繰り返し記録に挑戦できるランキングシステムの利用を促進した。
		(評価) 基準値(H25) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H29) 9 - - 14 127.3% 11以上 15以上	(評価) 平成27年度の全国体力・運動能力調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)、全国平均を上回る種目数が34種目中14種目になり、23種目で前年度より記録が向上した。
	評価	(課題) 全国と比較して、「20mシャトルラン」「持久走」等の「全身持久力」、「上体起こし」の「筋持久力」が低位の状況で課題が見られる。	(課題) 全公立小中学校の特定学年全学級で、担任と栄養教諭・学校栄養職員が学校給食の時間等を活用した「食に関する指導」実施する専門性のある指導者派遣を進めしていく。
	担当課 体育学校安全課 今後の取組方針	小学校体育授業への指導者派遣による実施対象校を拡大していく。また、望ましい生活習慣の形成に向けて取組を支援する専門性のある指導者派遣を進めていく。	
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	学校における食育の推進 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合	事業目的 「徳島県学校食育指導プランⅡ」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。	取組状況(H27年度分) 1 全公立小中学校の特定学年全学級で、担任と栄養教諭・学校栄養職員のTTによる「食に関する指導」の授業実施 2 公立小中特別支援学校で、担任や栄養教諭・学校栄養職員が学校給食の時間等を活用した「食に関する指導」実施
		(評価) 基準値(H25) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H29) 11.1 - 33.3 100.0% 33.3 55.5	(評価) 全公立小中学校で授業を行うことにより、児童生徒に望ましい食習慣について考えさせ、保護者や地域にも啓発することができた。
	評価	(課題) 栄養教諭・学校栄養職員が置籍校や未配置校に赴いて授業をすることが、時間等の制約で困難な場合があつた。	(課題) 栄養教諭・学校栄養職員の配置拡大を図ることとともに、市町村に働きかける。また、各学校の取組状況を市町村教育委員会を通して定期的に調査し、教育に対応する意識向上を図る。
	担当課 体育学校安全課 今後の取組方針	今後の取組方針	
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
26	健やかに生きる力の育成	担当課 体育学校安全課 健やかに生きる力の育成	担当課 体育学校安全課 健やかに生きる力の育成
27			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
		学校における食育の推進 学校給食における地場産物の活用率		<p>地域の産業や文化等について学んだり生産者等に対する感謝の気持ちを育てたりするために、食育の教材である学校給食に安全安心な地場産物の活用を推進する。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>国(基準目標値)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>41</td> <td>46.8</td> <td>36.5</td> <td></td> <td></td> <td>104.3%</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </table> <p>(単位：%)</p> <p>評価</p> <p>(課題) 地場産物活用の呼びかけにより、学校給食における地場産物の活用が進んでいる。</p> <p>(課題) 県産の肉や魚は、価格等の問題で活用困難であった。また、県産根菜類が入手困難な11月は、活用率が上がりにくかった。</p> <p>関係部局や生産者団体と連携をとりながら、地域の実態や各調理場の食数に応じた安定的な地場産物供給体制の整備を進めめる。</p> <p>今後の取組方針</p>	国(基準目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	30	41	46.8	36.5			104.3%	35	35
国(基準目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
30	41	46.8	36.5			104.3%	35	35														
28	健やかに生きる力の育成	担当課 体育学校安全課	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	<p>学校保健の充実を図ることとともに、学校・家庭・地域・専門機関と連携し、子どもたちの現代的な健康課題の解決に取り組む。特に、望ましい生活習慣の定着を図り、児童生徒の肥満予防、肥満対策、生活習慣病予防対策を推進する。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td>120.0%</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>(単位：回)</p> <p>(成績) 協議会・対策会議を6回実施し、アレルギー疾患(2件)、生活習慣改善(5件)、食生活(1件)、運動・身体の調整能力(2件)、心理(1件)、性教育(1件)について、地域等での研修会、講演会を実施した。</p> <p>(課題) 肥満・生活習慣病予防に関しては、保護者の理解や協力が不可欠であり、効果的な連携が課題である。</p> <p>今後の取組方針</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	20	20	16	18			120.0%	15	15
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
20	20	16	18			120.0%	15	15														
29	健やかに生きる力の育成	担当課 体育学校安全課	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	<p>食育や体力向上との関連を図り、総合的に取り組む。また、肥満予防・生活習慣改善に向けて、元気なあわっ子憲章の啓発普及を図り、家庭との連携を深める取組を推進する。</p>																		

番号		施策・成果指標		事業目的		事業目的		施策・成果指標		事業目的		
推進項目	推進項目	学校保健の充実	肥満傾向の児童生徒数(小中)	事業目的	事業目的	事業目的	事業目的	相談支援体制の充実	ニーズに応じた「個別の教育支援計画」の作成率	事業目的	事業目的	
30	健やかに生きる力の育成	本県の子どもたちの肥満予防・肥満予防の取組を行なう。	すべての中高校で「生活習慣改善計画」を作成し、年間を通じてその実践に取り組んでいる。また、中高では「健 康力アップ30日作戦」、小学校では「体力アップ100日作戦」として、児童生徒が自ら目標を立て、生活習慣改善の取組を推進する。PTAを対象として運動習慣に関する講習会等に指導者を派遣したり、県医師会との連携により「肥満傾向児に対する2次検診」を実施している。	事業目的	本県の子どもたちの肥満予防・肥満予防の取組を行なう。	事業目的	本県の子どもたちの肥満予防・肥満予防の取組を行なう。	事業目的	相談支援体制の充実	ニーズに応じた「個別の教育支援計画」の作成率	事業目的	
		(結果) すべての学校において、児童生徒の生活習慣改善のための計画を作成し、その実践に取り組むなど、子どもたちの生活習慣改善の取組が徐々に浸透しつつある。	(課題) 全国的にみて、本県の子どもたちの肥満傾向児の出現率が依然として高い状況にあり、学校だけではなく、保護者や家庭の果す役割が重要である。	評価	(結果) すべての学校において、児童生徒の生活習慣改善のための計画を作成し、その実践に取り組むなど、子どもたちの生活習慣改善の取組が徐々に浸透しつつある。	(課題) 全国的にみて、本県の子どもたちの肥満傾向児の出現率が依然として高い状況にあり、学校だけではなく、保護者や家庭の果す役割が重要である。	評価	(結果) すべての学校において、児童生徒の生活習慣改善のための計画を作成し、その実践に取り組むなど、子どもたちの生活習慣改善の取組が徐々に浸透しつつある。	(課題) 全国的にみて、本県の子どもたちの肥満傾向児の出現率が依然として高い状況にあり、学校だけではなく、保護者や家庭の果す役割が重要である。	評価	(結果) すべての学校において、児童生徒の生活習慣改善のための計画を作成し、その実践に取り組むなど、子どもたちの生活習慣改善の取組が徐々に浸透しつつある。	
		(基準値(H25) 5,437人 H25 - H26 H25の4.7% 減)	(基準値(H25) H25 - H26 H25 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) H25の2%減)	取組状況(H27年度分)	(基準値(H25) H25 - H26 H25 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) H25の6%減)	取組状況(H27年度分)	(基準値(H25) H25 - H26 H25 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) H25の2%減)	取組状況(H27年度分)	(基準値(H24) H24 H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) H25の2%減)	取組状況(H27年度分)	(基準値(H24) H24 H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) H25の2%減)	
31	個性がひらく特別支援教育の推進	本県の必要がある幼児児童生徒がいなくても、作成が困難な場合がある。	1 県教育委員会において特別支援教育コーディネーター研修、特別支援学級担任者研修、関係機関が連携し障がいの状態等に応じた支援を乳幼児期から学校卒業までの長期的視点で行なうための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。 2 県立総合教育センターが作成している「個別の教育支援計画」を作成するためには、「運動」「食」「睡眠」などとともに、子どもたちの肥満予防・肥満対策を図るため、学校・家庭・地域等が連携して、「運動」「食」「睡眠」などの基本的な生活習慣の改善の取組を行う。	評価	本県の必要がある幼児児童生徒がいなくても、作成が困難な場合がある。	1 県教育委員会において特別支援教育コーディネーター研修、特別支援学級担任者研修、関係機関が連携し障がいの状態等に応じた支援を乳幼児期から学校卒業までの長期的視点で行なうための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。 2 県立総合教育センターが作成している「個別の教育支援計画」を作成するためには、「運動」「食」「睡眠」などとともに、子どもたちの肥満予防・肥満対策を図るため、学校・家庭・地域等が連携して、「運動」「食」「睡眠」などの基本的な生活習慣の改善の取組を行う。	評価	本県の必要がある幼児児童生徒がいなくても、作成が困難な場合がある。	担当課 体育学校安全課	担当課 特別支援教育課	担当課 特別支援教育課	担当課 特別支援教育課

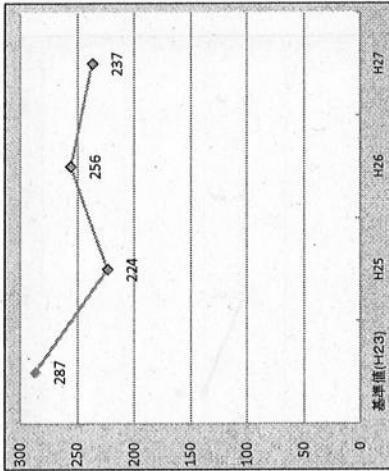
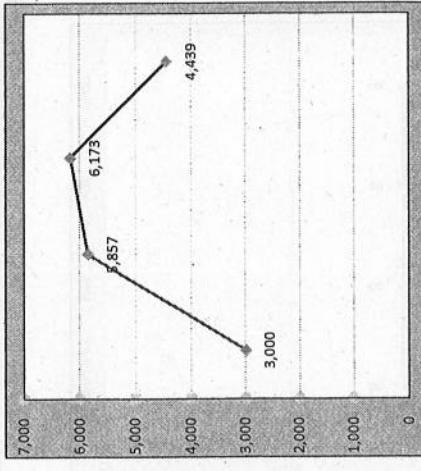
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針										
	就労支援の充実 特別支援学校の就業体験協力事業所数(累計)	事業目的 特別支援学校では、事業所等で適性に応じた就業体験を積極的に行うため、進路指導主事等が中心となり、就業体験に協力いただける事業所を開拓していく。											
32	個性がひらく特別支援教育の推進	取組状況(H27年度分)  <table border="1"><caption>就業体験協力事業所数(累計)</caption><thead><tr><th>年</th><th>数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>300</td></tr><tr><td>H25</td><td>352</td></tr><tr><td>H26</td><td>453</td></tr><tr><td>H27</td><td>550</td></tr></tbody></table>	年	数	H24	300	H25	352	H26	453	H27	550	評価 1 特別支援学校進路指導主事等15名が職場開拓を行った回数→2375回 2 新規に進路開拓した事業所数→117事業所 3 平成27年度に進路開拓した事業所のうち、就業体験を受け入れ可能と答えた事業所数→97事業所 (成果) 進路指導主事等が中心になり、新たに97事業所を開拓することができた。 (課題) 特別支援学校では、生徒が事業所での就業体験を繰り返し行うことでき業後への就労に結びついている。そのため、進路指導主事を中心として生徒に応じた就業体験先の確保とマッチングが課題となっている。 徳島労働局・ハローワークや商工労働部労働用課、障害者雇用を支える徳島企業ネットワークなど関係機関と協力し、特別支援学校ゆめチャレンジフェアや発達障がい者等雇用企業応援研修を開催し、就業体験協力事業所を開拓的に開拓する。 今後の取組方針
年	数												
H24	300												
H25	352												
H26	453												
H27	550												
33	個性がひらく特別支援教育の推進	担当課 特別支援教育課 就労支援の充実 県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針 企業の障がい者雇用への理解を推進するとともに、生徒の就労意欲や技能向上を図るなど、特別支援学校生徒の自立のための取組を強化する。 特別支援学校ゆめチャレンジフェアの2ヶ所開催 東部開催 参加企業25社 参加生徒121名 西部開催 参加企業22社 参加生徒112名 ゆめチャレンジフェアの参加や技能検定の受検者増により、生徒の働く動機付けが高まってきた。 ※平成27年度全体就職率：39%  <table border="1"><caption>就職率</caption><thead><tr><th>年</th><th>率</th></tr></thead><tbody><tr><td>H25</td><td>97</td></tr><tr><td>H26</td><td>96.6</td></tr><tr><td>H27</td><td>96.6</td></tr></tbody></table>	年	率	H25	97	H26	96.6	H27	96.6		
年	率												
H25	97												
H26	96.6												
H27	96.6												

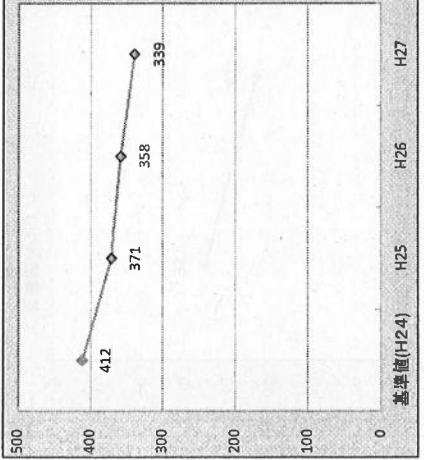
番号	推進項目	就労支援の充実 とくしま特別支援学校技能検定受験者数	施策・成果指標		事業目的 に向けた意欲や技能の向上を図る。	事業目的 特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労	事業目的 「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンス（自在ぼうき、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ）、接客（喫茶サービス）、介護（シーツ回収、シーツセット）、ICT（ワープロ入力）の4分野8種目を実施し、延べ423名の生徒が受験して級認定を受けた。平成26年度から27年度にかけては、新たに介護分野のシーシェット技能検定の設置、西部開催により、受験者数が増加した。
			取組状況 (H27年度 分)	評価			
34	個性がひらく特別支援教育の推進		<p>（基準値(H24) 65　H25 226　H26 353　H27 423　H28 423　H29 423　達成率(H27) 114.3%　目標値(H29) 370　目標値(H29) 390）</p> <p>（成果）4分野8種目の検定を実施し423名の生徒が受験、受験した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。</p>				
35	個性がひらく特別支援教育の推進		<p>（基準値(H24) 5　H25 13　H26 6　H27 3　H28 6　H29 6　達成率(H27) 40.0%　目標値(H27) 15　目標値(H29) 15）</p> <p>（課題）作業学習の充実に向けた技能検定の取組についても更に推進する必要がある。</p> <p>今後とも、事門家等との連携により、ビルメンテナンス、接客、介護、ICTの4分野について「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施するとともに、接客分野及び流通分野新種目の開発を行い、特別支援学校生徒の就労に向けて技能の習得や意欲の向上を目指す。</p>	<p>（基準値(H24) 5　H25 13　H26 6　H27 3　H28 6　H29 6　達成率(H27) 40.0%　目標値(H27) 15　目標値(H29) 15）</p> <p>（課題）作業学習の充実に向けた技能検定の取組についても更に推進する必要がある。</p> <p>今後とも、事門家等との連携により、ビルメンテナンス、接客、介護、ICTの4分野について「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施するとともに、接客分野及び流通分野新種目の開発を行い、特別支援学校生徒の就労に向けて技能の習得や意欲の向上を目指す。</p>			
番号	推進項目	発達障がい教育の充実 関係機関のネットワークを利用した高等学校相談校数	施策・成果指標		事業目的 「とくしま特別支援学校技能検定」として、登壇者がいわゆる総合支援センター、地域若者サポートステーション、就業・生活支援センターとICTネットワークを活用したテレビ会議システムをを利用して、即時相談支援体制の構築を図ることにより、喫緊の課題である発達障がいのある高等学段階の生徒の就労支援を実施する。	事業目的 「とくしま特別支援学校技能検定」として、登壇者がいわゆる総合支援センター、地域若者サポートステーション、就業・生活支援センターとICTネットワークを活用したテレビ会議システムを利用し、情報交換会2回（高等学校のべ6校）、なんでも相談会（高等学校2校、関係機関のべ6か所）」、Web相談（県中央部高等学校1校）、関係機関による情報交換会（運営委員会）を1回行った。	事業目的 「とくしま特別支援学校技能検定」として、登壇者がいわゆる総合支援センター、地域若者サポートステーション、就業・生活支援センターとICTネットワークを活用したテレビ会議システムを利用し、情報交換会2回（高等学校のべ6校）、なんでも相談会（運営委員会）を1回行った。
			取組状況 (H27年度 分)	評価			

番号		施策・成果指標		事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	
推進項目	発達障がい教育の充実 「徳島県発達障がい教育研究会」における参加校数	事業目的	徳島県内の各園・学校での成果を、県内外へ情報発信を行う。		
36	個性がひらく特別支援教育の推進	取組状況(H27年度分)	第1回研究会参加校数（8月27日実施）：県外11校、県内77校 合計88校 第2回研究会参加校数（12月17日実施）：県外8校、県内24校 合計32校 合計120校	（単位：校）	
		評価	(成果) 県内外を中心し、目標値を上回る120校の参加があった。また2回目は、県外の高校に発表を依頼し、県外の先進的取組も知る良い機会となり上げて開催し、多数の参加があった。平成27年度は、2回のうち1回を校外の広い会場を借りた。 (課題) 本研究会で発信したような内容を、各園や学校での実践に広げていってもらう中で、その実践の様子や課題についてフィードバックするような場も今後は設けていく必要がある。		
		今後の取組方針	今後も、発達障がい教育研究会を通して、県内外へ情報発信を行っていく。その際、長期的な見通しを持つて研究会の主題や内容も複数年の計画を立てて進めていく。		
番号		施策・成果指標		事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	
推進項目	発達障がい教育の充実 「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した実践教育の事例数(累計)	事業目的	徳島県において、発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームを核とし、共生社会の実現に向けた「とくしま支援モデル」の開発など徳島ならではの特別支援教育の充実を図る。		
37	個性がひらく特別支援教育の推進	取組状況(H27年度分)	平成27年度学校コンサルテーション実施校 ○特別支援学校6校 ○幼稚園1園、小学校2校 ○実践研究報告会の開催	（単位：件）	
		評価	(成果) アドバイザーを活用した効果的な学校コンサルテーションを推進することができた。各学校の児童生徒の行動をデータ化、客観的評価を行い、その成果を実践研究報告会において県内外に発信することができた。 (課題) 学校コンサルテーションを推進するために、専門性の高い校内担当リーダーを各校2名程度養成する必要がある。		
		今後の取組方針	各事例の担任だけがアドバイザーから指導・助言を受けるのではなく、各事例について校内でチームを組み、複数の教員が専門家と協働できる仕組みを構築する。		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																
38	個性がひらく特別支援教育の推進 特別支援教育に関するe-ラーニング研修システムへの年間延べアクセス数	発達障がい教育の充実 特別支援教育に関するe-ラーニング研修システムへの年間延べアクセス数	事業目的	教員が児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な始動や必要な支援ができるように、e-ラーニング研修システムを開発し、教員の専門性向上を図る。																
		「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携し、e-ラーニング研修システムの学習教材の開発を進めた。	取組状況(H27年度分)	(単位：件) <table border="1"><tr><td>基準値(H25)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H27)</td><td>目標値(H29)</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>開発</td><td></td><td></td><td>開発</td><td>1,200</td></tr></table>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	-	-	-	開発			開発	1,200
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)													
-	-	-	開発			開発	1,200													
			評価	(成果) 特別支援教育の基礎的な知識を教員が身に付けるためのe-ラーニング教材を作成ソフトの導入、公開手続きの検討を行った。 (課題) 特別支援教育における問題作成、検討組織の編成が必要である。職務研修の事前課題とするなど、広くe-ラーニング教材へのアクセスを拡大する取組が必要である。																
			今後の取組方針	特別支援学校の巡回相談員等、専門性の高い教員により作問委員会を組織し、年2～3回の作問を行う。また、総合教育センターの職務研修担当者と協議し、e-ラーニング教材をを取り入れる方策について、検討を行う。																
39	行動につながる人権教育の推進	施策・成果指標	担当課 特別支援教育課	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																
		教育活動全体を通じた人権教育の充実 「徳島県人権教育推進方針」の改定・推進	事業目的	人権に関する国や社会的な状況を踏まえ、現行の「徳島県人権教育推進方針」に新たな人権教育の視点や人権課題の内容を追記するとともに、学校教育において、学習者の発達段階に応じ、あらゆる機会や場を捉えて人権教育を更に推進し、充実を図っていく。																
			取組状況(H27年度分)	平成25年度に作成したリーフレット「『徳島県人権教育推進方針』に基づく人権教育の充実」を基に、各種研修会や学校訪問等を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記した内容の周知に努めた。また、具体的な実践につながる指導者用資料の周知・活用の推進に努めた。																
			評価	(成果) 各種研修会や学校訪問を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記した内容を周知するとともに、具体的な実践につながる指導者用資料の活用促進を図ることができた。 (課題) 追記した内容や昨年度作成した指導者用資料の周知とともに、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育を更に推進する必要がある。																
			今後の取組方針	様々な機会を通じて、リーフレットや指導者用資料を活用した人権教育の具体的実践を進め、人権教育の充実を図っていく。																
			担当課 人権教育課																	

番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	
		教育活動全体を通じた人権教育の充実	人権教育研究校の指定校数		人権意識を培うための学校教育の在り方等について、幅広い観点から実践的な研究を行い、その成果の普及に努め、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。	
40	行動につながる人権教育の推進	担当課 人権教育課	基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) 目標値(H29)	取組状況(H27年度分)	1 研究指定校の指定 ○県指定(辻幼稚園、坂野幼稚園、鳴島支援学校、徳島中央高等学校) ○文部科学省指定(芝生小学校、新開小学校、松茂中学校、阿南中学校) 2 研究発表会の開催 11月13日(坂野幼稚園、新開小学校) 11月18日(徳島中央高等学校) 3 ホームページ等での情報発信 11月6日(阿南中学校)	(単位:校)
41	行動につながる人権教育の推進	担当課 人権教育課	基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) 目標値(H29)	取組状況(H27年度分)	(成績) 研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の改善・充実を図るとともに、教職員の人権意識の高揚やPTA研修の充実にもつながった。研究発表会の開催、人権教育課のホームページ上での情報発信等により、研究の成果を広く県内各園・校に普及し、人権教育の充実を図ることことができた。 (課題) 研究指定校への支援、研究成果等の普及については、更に工夫改善を行っていく必要がある。 研究指定校における研究の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、人権教育の充実を図っていく。 今後の取組方針	(単位:回)
10	行動につながる人権教育の推進	担当課 人権教育課	基準値(H24) H25 H26 H27	取組状況(H27年度分)	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	
2	生涯学習を通じた人権教育の充実	担当課 人権教育課	基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) 目標値(H29)	取組状況(H27年度分)	(成績) 「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。 ①初任者研修(人権教育) (8月7日) ②学校リーダー研修(人権教育) 小・中学校(6月5日), 高等学校・特別支援学校(5月22日) ③「あわ」「じんけん講座」 幼(7月31日), 小(7月23日), 中(7月24日), 高・特(8月4日) ④実践力向上講座(8年目の教員) ⑤指導力充実講座(10年経験者) ⑥人権教育主事研修会 年間3回 ⑦教職5年次研修(人権教育) 小(11月30日), 中・特(11月27日), 高・養(12月4日)	(単位:回)
0	生涯学習を通じた人権教育の充実	担当課 人権教育課	基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H27) 目標値(H29)	取組状況(H27年度分)	(成績) 従来の基本研修や職務研修など「あわ」「じんけん講座」を関連させることにより、教職員の人権意識の高揚につながっている。 (課題) 人権教育の研修を実施することにより、人権問題の理解と人権意識の高揚につながっている。 人権教育のほかにも様々な内容の研修が求められており、研修内容の充実を更に図ることとともに、総合教育センター等との連携を密にして、研修機会を更に確保していく必要がある。 全国的に教員の世代交代が進みつつある中、ライフステージごとの研修において繰り返し人権教育を扱い、教員の人権意識と指導力の向上に努めている。研修において身に付いた知識や技能を、組織的な取組や児童生徒の成長につなげていけるよう、研修内容・指導方法の改善・充実を図る。	(単位:回)

番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針															
		教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育指導員の派遣要請の回数	担当課 人権教育課		基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)							
42	行動につながる人権教育の推進			人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において指導助言することにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することとする。	40名の徳島県人権教育指導員を嘱託し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において、個別人权課題や普遍的な視点についての指導助言を行う。様々な人权課題や今日的な课题に対する意見を加えて普遍的な観点からも指導できる体制を整えた。 (単位：回)	取組状況(H27年度分)	(成果) 豊かな知識や経験を有する人権教育指導員をして派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。													
	評価			(課題) 各学校等から依頼のある個別人权課題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個別人权課題を取り上げた研修が行われるように働きかけていく必要がある。	今後とも、幅広い研修の要望に応えられる体制を整えていく。また、人権教育指導員の連絡会において今日的な課題についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。	今後の取組方針														
43	行動につながる人権教育の推進		担当課 人権教育課	事業目的	「いのち」の大切さや生きることのつながりの大切さ、人権尊重の重要性について考える機会を通じて、人権尊重の精神の涵養を図る。また、その作品を人権教育・啓発資料として活用することによって、県民一人ひとりに、他の態度や行動につなげていくことを目的とする。	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	「いのち」の大切さや生きることのつながりの大切さ、人権尊重の重要性について考える機会を通じて、人権尊重の精神の涵養を図る。また、その作品を人権教育・啓発資料として活用することによって、県民一人ひとりに、他の態度や行動につなげていくことを目的とする。	取組状況(H27年度分)	1 作品募集 県内の幼稚園児から大人の方まで4,439点の作品が募がれた。 2 優秀作品の表彰式 ヒューマンフェスタ2015(11月15日)において、優秀作品(43作品)を表彰するとともに作品の展示を行った。 3 優秀作品の活用 優秀作品を啓発用パネルや作品集にし、人権教育啓発展示等で活用できました。	評価	1 作品募集 (H21～24平均) 2 優秀作品の表彰式 (H21～24平均) 3 優秀作品の活用 (H21～24平均)	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)
	評価			(課題) 本事業は、毎年、児童生徒に広く普及しつつある。今後は、一般の部の作品の充実に向けて広報に努めていく。また、「いのち」の大切さをテーマにした作品であるため、学校や地域社会において人権意識の高揚を図るために、効果的な作品の活用が必要である。	作品募集について工夫し、更に広報に努める。 また、様々な機会を捉えて作品パネルの展示や貸出しを行うとともに、作品集を学校や社会教育施設へ配付し、効果的な作品の活用を図る。	今後の取組方針														

番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	施策・成果指標		評価	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
		自主的な活動の推進	中・高生による人権交流集会参加人数		中・高生等が交流しながら、人権教育の理念について語り合うことを通じて、人権尊重の理念について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てる。																					
44	行動につながる人権教育の推進			取組状況(H27年度分)	中・南・西の各ブロックで中・高生等が交流しながら、人権教育の理念についての理解を深める自主的な活動を推進した。「また、「中・高生による人権交流集会」には339名の参加者がおり、講演後の分科会では、「同和問題について」「戦争と平和・戦争と人権について」「ハンセン病回復者の人権」のテーマで各ブロックの活動の発表や意見交換が行われた。さらに、「ハンセン病回復者の人権」のテーマで各ブロックの報告発表が行われた。	<table border="1" data-bbox="362 347 457 1358"> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>412</td> <td>371</td> <td>358</td> <td>339</td> <td></td> <td></td> <td>77.0%</td> <td>440</td> <td>450</td> </tr> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	412	371	358	339			77.0%	440	450	評価	(成果) 各ブロックの生徒部会や実行委員会では、現地研修や講演会等を通して積極的な交流や意見交換が行われた。交渉会にも339名の参加があり、校種を超えた活発な意見交換が行われ、人権の意義や重要性についての理解が深まるとともに、人権問題を鋭く見抜く感性の高まりが見られた。 (課題) 更に多くの生徒が参加して、共に学び交換が図れるように、内容や日程・実施会場の工夫を図っていく必要がある。
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																		
412	371	358	339			77.0%	440	450																		
	今後の取組方針			取組状況(H27年度分)	交流集会の進め方や生徒が参加しやすい内容や日程・会場を工夫・改善し、多くの学校と生徒の参加者が得られるようになりますとともに、生徒への周知を図っていく。中・高生等が一堂に会して人権について語り合うことを通して、人権意識の高揚と人権問題の解決に向けた実践力を身に付けることができるよう取り組を進めていく。																					
45	担当課 人権教育課			取組状況(H27年度分)	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																				
	担当課 人権教育課				学校において、美術や音楽等の藝術に触れる機会を充実させることで、子どもたちの豊かな想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげる。																					
	推進項目	芸術文化活動の活性化		取組状況(H27年度分)	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																				
	担当課 教育文化課				1 文化庁事業：次代を担う文化芸術体験事業	<table border="1" data-bbox="849 1537 1246 2009"> <tr> <td>巡回事業</td> <td>37回</td> </tr> <tr> <td>派遣事業</td> <td>21回</td> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>1回</td> </tr> </table>	巡回事業	37回	派遣事業	21回	派遣回数	1回														
巡回事業	37回																									
派遣事業	21回																									
派遣回数	1回																									
					2 徳島県児童演劇地方巡回公演事業	<table border="1" data-bbox="849 1537 1246 2009"> <tr> <td>巡回事業</td> <td>37回</td> </tr> <tr> <td>派遣事業</td> <td>21回</td> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>1回</td> </tr> </table>	巡回事業	37回	派遣事業	21回	派遣回数	1回														
巡回事業	37回																									
派遣事業	21回																									
派遣回数	1回																									
					<table border="1" data-bbox="849 347 1071 1358"> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>10,597</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10,583</td> <td></td> <td></td> <td>105.8%</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> </table>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	10,597	-	-	10,583			105.8%	10,000	10,000	評価	(成果) 文化庁事業・県費事業とともに、県作成の「文化教育入材ハシク」を活用し、学校での芸術家等の活動を実施し、目標値を上回る成果を達成した。 (課題) 優れた芸術に触れる機会である本事業の内容や実施効果を広報する必要がある。	
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																		
10,597	-	-	10,583			105.8%	10,000	10,000																		
	今後の取組方針							今後とも、学校での二ースの把握に努め、活動内容の質の向上、実施内容の質の向上、実施効果を広報する必要がある。																		
	担当課 教育文化課																									

基本方針3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現

番号 推進項目 施策・成果指標

学校・家庭・地域の連携
「とくしま教育の日(週間)」の効果的な事業の実施

46

事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																	
事業目的	教育に対する理解を深めるため、「とくしま教育の日(週間)」を中心に、学校や市町村、教育団体等で、様々な事業を実施している。さらに広く事業を普及、啓発するためにシンボルマークを活用した広報を展開する。																
取組状況(H27年度分)	<p>1 市町村、教育機関や民間団体との協力・連携のもと、平成27年度は、26年度より27事業増の1,143事業を取りまとめた。</p> <p>2 シンボルマークを活用し、広報に努めた。</p> <p>3 保護者向け広報紙の発行時期を変更し、実施事業の効果的な広報に努めた。</p>																
評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H27)</th><th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td><td>シンボルマークを使つた広報啓発</td><td>効果的な事業の実施</td><td>効果的な事業の実施</td><td></td><td></td><td></td><td>事業の充実</td></tr> </tbody> </table> <p>(成果) 学校・家庭・地域・スクールが開催されたほか、読書や文化祭を通じた保護者や地域との交流会などの学校行事が数多く開催された。</p> <p>(課題) 効果的な事業の実施について、各関係団体、関係機関に対してさらに協力を求める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	-	シンボルマークを使つた広報啓発	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施				事業の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)										
-	シンボルマークを使つた広報啓発	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施				事業の充実										
今後の取組方針	シンボルマークを活用する等、事業の一体的な広報・啓発に努めるとともに、より効果的な事業を実施する。																
番号	推進項目 施策・成果指標																
	学校・家庭・地域の連携 放課後や週末等における教育・体験活動の実施率																
番号	担当課 教育政策課																
	学校・家庭・地域の連携 放課後子供教室をはじめ社会教育研修大会による情報の共有化に努めた。																
番号	推進項目 施策・成果指標																
	学校・家庭・地域の連携 放課後子供教室をはじめ社会教育研修大会による意見交換を行い、参加者の情報交換やスキルの向上を図った。また、放課後子供教室をはじめ社会教育研修大会をはじめとする地域の方々による社会教育研修大会を開催し、相互の理解と活動の広がりにつながる情報を共有化に努めた。																
取組状況(H27年度分)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H27)</th><th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35</td><td>-</td><td>-</td><td>47</td><td></td><td></td><td>104.4%</td><td>45</td></tr> </tbody> </table> <p>(成果) 教育活動サポーター等研修会による意見交換や情報の共有化により、安心・安全な子どもたちの連携が図られた。</p> <p>(課題) 放課後子供教室や社会教育研修大会における意見交換や情報の共有化には、児童数の減少や教育活動推進員や教育活動サポーターの人員確保ができないなど居場所づくりの理由により、新規開拓が難しい場合がある。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	35	-	-	47			104.4%	45
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)										
35	-	-	47			104.4%	45										
評価	各事業間の連携を図り、子どもたちの安心・安全な居場所づくりを進め、地域の方々の理解や協力を得ることができるよう広報を行っていく。																
今後の取組方針	担当課 生涯学習課																